

2019. 9. 20 ペルーの子どもたちのためのお箸の教室開催！

秋風が心地よく感じられるようになった、9月20日(金)の午後、「NIPPON ACADEMY おもてなし専門学校」(注)の要請でペルーの子どもたちのためのお箸教室を開催しました。

会場は群馬県我妻郡高山村にある「NIPPON ACADEMY」のセミナーハウスです。

子どもたちはペルー在住の日系ペルー人24人で全員小学6年生、12歳です。日本語学校在席で今回は「NIPPON ACADEMY」の企画で、日本の自然や文化を学ぶために引率の先生4人と来日しました。

授業では、お箸講師の鈴木道こ先生が画像やいろいろな小物を示しながら、お箸の歴史やお箸の使い方、お箸のマナーなどを紹介、さらに一人一人に割り箸を渡し、割り方や持ち方などを説明しました。お箸の持ち方は来日前に練習してきたとのことで、上手に持てる子どもも多く、我々スタッフが少し苦手そうな子に手を添えて教えると、「ありがとう」とニコリ。みんな礼儀正しく挨拶がしっかりできるのに驚かされました。

箸絵付けでは、一転、みんな心のままにステキな世界を描いていきます。ポスカを振り下ろしてお箸にインクを振りかける、ポスカのインクを手にとり、お箸に指で塗り付ける。掌や腕までもインクに塗れながら一心に取り組みます。

太陽の国・ペルーを象徴する赤を基調にした明るく大胆な配色を施した模様や黒をベースに描いた繊細で愛らしい模様、その他にも子どもが描いたとは思えない絵柄の数々はどれも素晴らしく、しかもペルーのお国柄が溢れていて、我々は驚いたり感心することしきりでした。授業の最後は箸ピーゲーム。個人戦、団体戦を行い、全員で大いに競い合い、そして楽しみました。

子どもたちがここで学んだことを糧に、将来、日本とペルーの「はし渡し」となってくれることを願いながら、「さようなら」の挨拶で終了、あっという間の2時間半でした。

注：学校法人ニッポン・アカデミー (NIPPON ACADEMY)

群馬県前橋市に在る学校法人。日本語学校とおもてなし・料理・ITの専門学校から成る。国際箸学会では、同法人の要請で、3月にブラジル人のためのお箸教室を行っている。



スクリーンを使用しての授業



マイ箸づくりでは立派なアーティスト



お友達の作品に大に関心



初めての箸ピーゲーム



全員集合！